

私たちは 震災から 何を学ぶのか

市民
集会

3・11 後のまちづくりを考える 住み続けられるまち・住居・暮らし方

2011年9月3日(土) PM12:30~5:30

講演・液状化への警告はなぜ市民に届かなかったのか

楡井 久氏・茨城大学名誉教授

講演・震災で根本から見直されるまちづくり

五十嵐敬喜氏・弁護士・法政大学教授

報告・市民が見た震災・仙台、浦安

会場のみなさん参加の大ディスカッション

司会

日置雅晴氏・弁護士・早稲田大学法科大学院教授

会場 船橋中央公民館

会費 1,000 円

PM:600~

懇親会 会費 3,000 円(要申し込み)

2011年9月4日(日)

AM9:30~11:30

全国都市問題報告会

ディスカッション「制度改革へ」

会場 船橋中央公民館

会費 無料

PM1:00~

エクスカージョン三番瀬・東京湾海上ツアー
海から見たまちづくりを考える

見学コース： 船橋漁港、三番瀬、浦安・TDL 沖

自由参加(70名まで) 小雨決行 参加費 1,000 円

主催：景観と住環境を考える全国ネットワーク 共催：景観と住環境を考えるネットワーク千葉

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 3-2-5 SHK ビル 詳しくは→ <http://machi-kaeru.com/>

私たちは 震災から 何を学ぶのか

市民
集会

3・11 後のまちづくりを考える

住み続けられるまち・住居・暮らし方

この3月11日。私達は、かつてない大きな震災を経験しました。

この震災で私たちは多くの問題を抱え、生き方さえも問われることが明らかになりました。

これから、私たちの生活の場である「まち」をどうすればよいのか。

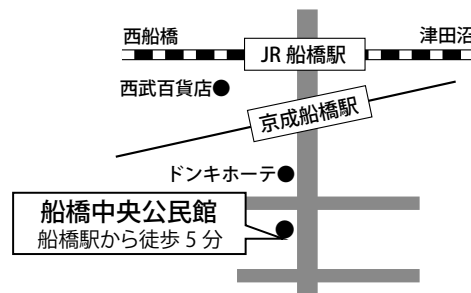
そしてマンション紛争から制度改革へとどうすれば進んでいけるのか。

全国の多くの皆様とともに考えたいと思います。

ひとりひとりの取り組みも共有することで大きな力になるはずです。そして根本的な問題解決を目指していきましょう。



景住ネット全国集会・in 千葉



2011年9月3日(土) PM12:30～

講演と大ディスカッション 会場 船橋中央公民館

参加費:1,000円※事前にお申込をお願いします。

ディスカッションの参加者は会場と以下のみなさまです。

楡井 久氏

茨城大学名誉教授。30年近くを地質環境のエキスパートとして、千葉県環境部地質環境研究室一筋に生きてきたが、楡井さんの液化化防止策は受け入れられず、定年まで3年を残し、県を去り、大学教授となる。現在も「現場」にこだわり、「湾岸パトロール」を続けている。

五十嵐敬喜氏

弁護士・法政大学教授。不当な建築や都市計画による被害者の弁護活動に携わるとともに、従来の公共事業を批判、「美の条例」(神奈川県真鶴町)の制定を支援するなど、美しい都市創りを訴えている。また、日本において「日照権」という権利を生み出したことで知られている。

日置雅晴氏

弁護士・早稲田大学法科大学院教授。不当な建築や景観保護に関する裁判を多く手がけ、最近では鶴の浦の景観裁判で歴史的勝訴を勝ち取る。また、事務所のある神楽坂の賑わい作りにも参加している。

吉永明弘氏

千葉大学大学院社会文化科学研究科博士。環境問題・環境倫理が専門。地域における開発や景観問題に焦点を当てて研究を進めています。広く、都市住民の自然とのかかわり、持続可能な資源・エネルギー・食料問題、環境保全に対する動機付けと責任の涵養などにも言及しています。

齋藤伊久太郎氏

千葉大学大学院自然科学研究科博士。アメニティマップづくりなどまちづくりを住民主体でつくる研究をしています。住民による住環境の再認識と改善は住民が地域に対しアンデンティティを見出し、コミュニティ再生の糸口になると思います。

2011年9月4日(日) AM9:30～PM12:00

全国都市問題報告会

ディスカッション「制度改革へ」

会場 船橋中央公民館 参加費:無料

全国のマンション紛争、再開発問題など都市問題にかかわる市民グループからの活動報告。内容を踏まえて制度改革をどう進めればよいのかについてのディスカッション

※活動報告を希望する方は8月10日までに、事務局宛お申込ください

PM1:00 中央公民館入り口前集合

エクスカーション三番瀬・東京湾海上ツアー

海から見たまちづくりを海上から考える

見学コース: 船橋漁港、三番瀬、浦安・TDL 沖

自由参加(70名まで) 小雨決行

13時半船橋漁港出航、16時船橋で解散

参加費:1,000円

※9月3日の講演とは別に参加費が必要です。事前にお申込をお願いします。

案内役●大野一敏さん

船橋漁業組合長・300年続いた漁師の家「大平」を守り、不振の沿岸漁業の中で果敢な行動力と近代的な経営手腕はひとときわ光彩を放っている。1984年には東京湾を愛する市民の組織・東京湾会議を作り実質的リーダーとして活躍。その後もシンポジウムなど様々なイベントを企画。著書に「東京湾で魚を追う」共著「日本の論点'95」がある。

※漁港を船から見学できます。海から見る浦安の高層マンション群など、あまり見ることのない風景が楽しめます。漁場から見た湾岸開発と環境・災害問題などの大野さんのお話が勉強になると思います。



FAXでのお申し込み

FAX (03) 5228-0392

お名前

団体名など

※以下に✓を入れてください

集会1日目参加 ☐ 懇親会参加 ☐

ご住所

集会2日目参加 ☐ 海上ツアー参加 ☐

電話

ファクス

mail

景観と住環境を考えるネットワーク・千葉

ネット申し込み <http://www.machi-kaeru.com/>
問い合わせ 510@machi-kaeru.com